

# 経済危機を乗り越えるための政策実現に取り組む 「速やかな政策実現を求める有志議員の会」



**事務局長として  
会の活動を運営**

## 『舛添厚労大臣へ「雇用打ち切り対策」を申し入れ』

自民党所属の衆・参議院議員50名でつくる「速やかな政策実現を求める有志議員の会」で、舛添要一・厚生労働大臣に非正規労働者の雇用打ち切りへの対策を強力に申し入れた。(DATE: 2008.12.18)



## 『二次補正の早期提出を』

河村建夫・官房長官に対し、第二次補正予算案などの早期国会提出を求める申し入れを行う世耕弘成議員と議連メンバー。(DATE: 2008.11.21)



## 『会の活動には大きな注目が』

党本部で開催された「速やかな政策実現を求める有志議員の会」で司会、進行を務める世耕弘成議員。今後の進め方等について白熱した議論が展開された。取材陣も多数殺到。(DATE: 2008.12.9)

● **世耕弘成ホームページ**  
<http://www.newseko.gr.jp/>

● **世耕日記(東京での活動をお伝えします)**  
<http://blog.goo.ne.jp/newseko/>

● **携帯Webサイトは右のQRコードでアクセス! ブログ「世耕日記」掲載中**

1. QRコード対応の携帯電話でQRコードを読み取ります。  
※撮影方法は各機種末端の取り扱い説明書をご確認ください。  
2. URLや情報が表示されます。URLはクリックするとそのサイトにアクセスできます。



世耕弘成後援会ニュース

# Kawara-Ban

2009年  
新年号

発行責任者: 川村太祐 〒100-8962 東京都千代田区永田町2-1-1-409号室 TEL:03-3508-8409

[Vol.5/毎月25日発行]

平成21年 新年のご挨拶

# 迎春



参議院議員  
議院運営委員会 筆頭理事 世耕 弘成

新年あけましておめでとうございます。皆様方にはすがすがしい新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。また昨年11月8日に私は議員生活10年を迎えさせていただきました。これまで支えて下さった皆さんに心から御礼を申し上げますとともに、なお一層精進に努めなくてはならないと決意を新たにしている次第です。

今年はお正月気分浸っている気分になれないほど厳しい一年となりそうです。米国のサブプライムローン問題に端を発する世界的経済危機は日本経済にも百年に一度という深刻な打撃を与えつつあります。超大手企業においても派遣社員が大量解雇されるなど、国民生活に深刻な影響が出ています。一方で議会運営の対野党交渉責任者である議院運営委員会筆頭理事として臨んだ昨年の臨時国会では「新テロ対策特措法」や「金融機能強化法」の採決が野党の突然の変貌により先延ばしされ、会期が年末まで25日間も延長されるなど、あいかわらず国政の混乱が続いております。

今の日本に党利党略の政局で揉めている余裕はありません。今こそ、政治のリーダーシップにより日本経済と国民生活の危機を打開していかなくてはなりません。昨年11月、同志議員とともに「速やかな政策実現を求める有志議員の会」を立ち上げ、麻生総理に対して第二次補正予算の早期国会提出を求めるなどの行動を起こしました。今年はこの会の活動を強化することをはじめ、国会議員として危機に瀕する日本経済と国民生活を救うために全力で行動してまいります。

私の活動方針は大きく3つの柱になります。

第一に、抜本的な景気対策を早期に実行することです。百年に一度の危機に対処するにはそれにふさわしい思い切った対策が必要です。私はこれまで財政再建や規制緩和推進の立場で国政に取り組んで参りましたが、今年に限っては危機克服のため発想を変えた取り組みが必要だと考えています。特に大胆な財政出動により積極的に大量の雇用を創出することが重要です。一に雇用、二に雇用の精神で取り組まなくてはなりません。未来志向の

公共事業で雇用を作っていけば長い目で見れば無駄になることはありません。和歌山での例を挙げれば、京奈和自動車道を一気に和歌山市までつなぐ、近畿道をすさみまで2年程度で完成させる、熊野川大橋を早期に完成させるなど、将来に向けての先行投資となる公共事業を積極的に進めることで大量の雇用を創出していくのです。またCO<sub>2</sub>吸収のための森林整備事業や国土保全のための農地整備事業にも大規模に国費を投入することで雇用の創出が可能です。他にも政府による株式買い支え、消費税を期間限定でゼロにする、銀行に対して預貸比率管理を導入し中小零細企業への貸し渋りを食い止めるなど大胆な政策を提言していきます。

第二に、国民に安心を提供することです。特に厚生年金記録の改竄という問題にまで広がってきた年金記録問題については抜本的な取り組みが不可欠です。改竄被害者救済のための特別立法や、特例納付期間の創設など、本来もらえるべき人がきちんともらえる制度整備に取り組みます。皆さんから強いご批判をいただいている後期高齢者医療制度については年金天引きの見直しや家族の一体感に配慮した制度の在り方など、国民の不満の声に応えた運用改善を提言していきます。

第三に、政治や行政に対する信頼を回復することです。危機を乗り越えるには国民の団結が必要です。しかし残念なことにねじれ国会の混乱や国家公務員の不祥事連発により、リーダー役たる政治や行政に対する国民の不信感がつのっています。国会議員の定数削減、歳費カットなどにより政治が率先して痛みを耐える姿勢を示すとともに、天下りの抜本的禁止や怠惰な国家公務員等に対しては解雇や損害賠償請求を可能とする法案に取り組みます。最後になりましたが、本年もチャレンジと改革への熱い闘志を忘れず、日本国とわが愛する郷土・和歌山のため全身全霊を傾け取り組むことをお誓いし、新年のあいさついたします。

平成21年1月1日